

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

活動 位置

対応する位置にシールを貼り、「同じ」「違う」「色」「場所」を理解する

環境をデザインする

●準備した物

プリント、シール

探究活動を実践する

●活動内容

プリントにいろいろな色のシールを貼る

位置を知り理解する

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年8月8日
時 間	30 分
参加人数	14 人

●子どもたちの様子

同じ形の窓には同じ色の電気をつけられるか問いかけると「星は黄色!」「丸は青?」と確認しながら取り組む様子が見られた。2個のりんごを見せて数を確認し、違いを尋ねると、「葉っぱがついている!」と気づき、葉っぱのある方だけに赤のシールを貼る姿があった。お団子の絵で上下を確認し、「じゃあここは?」と尋ねると「真ん中!」と声があがった。緑のシールを貼る際には「緑は抹茶!草餅!」と発言する子もいた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

色や形をばらばらで判別はできるが、ハートは赤色などの概念や講師の先生が右上に緑色を置いているから右上は緑色と答える子どもたちもいた。また、丸が3個ある内の真ん中と伝えたと丸の中心にシールを貼る子どもたちもあり、発想が面白く、また伝えることの難しさも感じた。できる子どもたちも話を聞かずに先々にしている子どもたちもあり、そこで間違えてしまう姿もあったため、話を聞くことの大切さも伝わったように感じた。

講師より

様々な絵を見て、それが何かを発言する姿に積極性の育ちを感じた。絵の特徴や違いに目を向けつつ、同じ形の同じ場所に同じ色のシールを貼ろうと集中する姿も見られた。上下だけでなく、「真ん中」という位置も理解し、言葉にして使う場面もあった。知っている食べ物を思い出した発言もあり、経験や知識と結びつけながら活動を楽しむ姿が見られた。



令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かず

活動 長さ比べ

「長い」「短い」を理解し、様々な形を作る体験をする

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年8月8日
時 間	30 分
参加人数	10 人

環境をデザインする

●準備した物

いろいろスティック

探究活動を実践する

●活動内容

長さ比べをする

長さの違うピースを自由につなぐ

●子どもたちの様子

色の違うまっすぐな棒を2本手に取り、比べると「長さが違う!」「こっちの方が長い!」と気づく姿があった。短いという言葉はすぐには出てこなかったが、ヒントを出すと「短い!」とすぐに声が上がった。次に棒を3本取り、「長い、短い、これは?」と問いかけると「中くらい!」と答える姿があった。2番目に長いのと、2番目に短いのと中ぐらいが同じ色だと、不思議そうに首をかしげている様子も見られた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

色や長さの異なるスティックを手に取り「どれが長いかな?」「繋げたらもっと長くなった」など講師の説明を聞きながら実際に比べたり組み合わせたりしながら楽しんで取り組んでいた。様々な長さや色のスティックを組み合わせ、好きな形(丸・すいか・めがね・トライアングルなど)を作りあげる中で、数や形への興味が自然に深まっているように感じた。

講師より

カラフルな棒を使う中で、「長い」「短い」「中くらい」といった比較の言葉に親しみ、状況に応じて使い分けようとする姿が見られた。同じ棒でも「中くらい」「2番目に長い」など複数の表し方があることに気づき、不思議さを感じているようだった。自由に形を作るときは、色々なものに見立てたり、友達と見せ合う姿も見られ、想像力を膨らませ、表現する力の育ちを感じた。

令和7年度

パピーナ本天沼保育園

すくわくプログラム

テーマ： かたち

テーマを設定する

形を組み合わせたり分けたりしながら、新しい形を作り出す楽しさを味わう。図形や立体への関心を深める中で、試したり考えたりすることを楽しみ、安心できるやりとりの中で自分の工夫を表現していく力を育てていく。

活動 三角形の理解

三角の形、構成、変化を理解する

環境をデザインする

●準備した物

三角パズル

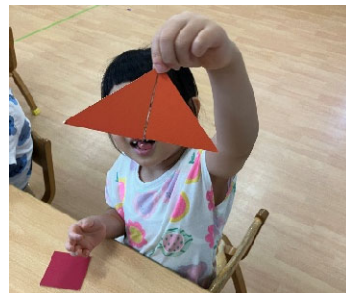
●活動内容

いろいろな形をつくる

パズルの組み合わせを考える

●子どもたちの様子

三角パズルを渡すと「7枚?」「8枚」と数を確かめる声があった。2枚を使って「四角!」「三角!」4枚では「お家!」「魚!」「滑り台!」「船!」といろいろなものを作っては、喜ぶ様子が見られた。8枚すべてを使う時には、悩みながらも最後まであきらめることなく仕上げようとする姿が見られ、最後には大きな建物やキツネの顔など自分のイメージを形にして楽しんでいた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

図形をどの向きに組み合わせたらイラストと同じ形になるのか、時間がかかる児もいたが、比較的スムーズに取り組めていた様子。図形の区切り線が無くても、想像力を働かせ、色々なパターンを試しながら出来ていた姿に成長を感じた。また、テキストの課題が終わった後、口頭での指示（8枚全部で真四角、三角、長四角を作る）についても、前段階で作った図形を組み合わせると出来ることに気が付き取り組めており、応用力も見受けられた。

講師より

三角パズルの枚数や形の組み合わせ方に関心を持ち、試行錯誤しながら構成を楽しむ姿が見られた。8枚で大きな形を作る際にもあきらめずに取り組み、最後までやり遂げる姿から年長児らしい集中力や粘り強さが育っていることを感じた。自由制作では、自分のイメージを形にする発想力や表現の豊かさが見られた。これからも図形への興味をさらに広げられるような取り組みをしていきたい。